

METTS NEWS LETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 2019年度教員採用試験一次結果報告

2018年7月8日に千葉県、東京都、埼玉県で教員採用一次試験が行われた結果、本学からは10名が二次試験に進みました。おめでとうございます！

METTSでは千葉県及び東京都の二次試験に向けての面接練習、千葉県対策としてティーム・ティーチング練習及び模擬授業練習を行い、受験生が万全の体制で二次試験に臨めるよう支援しました。受験生の成長は著しく、数回の指導を経て理路整然と話せるようになりました。この努力は必ずや成果につながるでしょう。

2019年度 教員採用試験			一次結果		
	日本語	英米語	卒業生	一次受験者 合計	一次合格者 合計
千葉県	2	6	5	13	8
東京都	1	2	2	5	2
埼玉県	0	1	1	2	0
その他	1	0	2	3	0
計	4	9	10	23	10

(単位：人)

二次対策練習は本番さながらの緊張感！

7月31日の千葉県教員採用一次試験の結果発表を受け、METTSでは8月1日から面接と実技練習を開始しました。受験者がもっとも緊張したのは、P&Pのパトリツィア・ハヤシ教授とタイソン・ロード准教授とのティーム・ティーチング練習でした。写真は受験生が考えた授業案をALT(外国語指導助手)役のロード先生に伝え、授業内での二人の役割を確認する場面です。英語力以上に要求されるのは短時間で簡潔に説明する技能で、現役大学生にとっては最難関のハードルと言えます。ロード先生、ハヤシ先生の的確な指示と受験生自身の根気強さにより、次第に練習の成果が現れるようになりました。

英米語科4年 上川 哲さんの感想

二次試験会場では、張りつめるような雰囲気はあったものの、個人的には全体的に冷静に臨むことができました。面接や模擬授業ではある程度準備したものを出すことができましたと思います。英語によるコミュニケーション



力そのものには課題を残しましたが、その事実を踏まえて今後ますます努力していきたいです。良い緊張感の中、良い経験ができたと思います。

受験者が語る

- 後輩に伝えたい二次試験対策 -

面接

- ・提出書類である「面接カード」に記入した内容について質問を想定し答えを考えておく。
- ・「なぜ教師になりたいか」について論旨を整え明確に言えるようにする。
- ・各都県の教育政策、求める教員像などを熟読しそれらに対する自分自身の考えを述べられるようにする。
- ・日ごろから受験地に関する情報や時事問題について見識を深めておく。
- ・何度も練習し回答例や指導された点をノートにまとめておく。

英語 ティーム・ティーチングと模擬授業

- ・仲間と協力し、教師役、受験生役を決めて本番を想定して練習する。
- ・練習の回数を重ねその都度指導を受ける。
- ・模擬授業とティーム・ティーチングの型を決め繰り返して慣れる。
- ・生徒からの発話が引き出せる授業プランをたてる。
- ・模擬授業用英語原稿を暗記するのではなく、臨機応変な英語が話せるように日ごろから英語を話す習慣をつける。

足立区小学校教員研修

足立区立小学校の教員に対する「英語力向上研修」が7月28日、29日、8月27日、28日の4日にわたり足立小学校で開催されました。この研修会は、足立区との連携協定のもと今年度初めて行われたもので、講師は教職課程センターの石鍋浩教授が務めました。8月28日の最終回では「Small Talk とは何か？」等について研修を行い、参加者それぞれが実演しました。全4回の研修会でしたが、回を追うごとに参加人数が増え、活気のあるとても明るい雰囲気の研修会になりました。研修会後のアンケートでは、「大変参考になった」「参考になった」という肯定的な回答が、100%でした。また自由記述欄には「外国語の授業で何となく進めていた部分を学ぶことができ、大変勉強になりました。特に Small Talk を含めた導入部分では、繰り返しの表現やジェスチャーをつけることでスムーズに話をすることができました。校内で共有したいと思います」な



コメントがありました。アンケートの内容を参考にさらに充実した研修にしていきたいと考えています。

都立葛西南高校寺子屋・2年生デビュー！

東京都教育委員会の事業である「校内寺子屋」は基礎学力の定着を図るための放課後の学びの場の確保を目的としてい



ます。本学と連携協定を結ぶ都立葛西南高校へは、2016年から英語の外部指導者として本学外国語学部英米語学科学生を派遣しています。参加学生は教科指導法や生徒との接し方等について先輩にアドバイスを求めたり、METTS職員から教材作りのポイントを学んだりしながら入念に準備しています。机上の学びと学校現場での実践が結びついた素晴らしい学びの場となっています。写真は2年生の時田亘さん(左)、鶴巻紗希さん(中)、藤田祐也さん(右)。時田さんは「人に勉強を教えたり、自分が教師の立場になるという経験をしたことがなかったので、初回は非常に緊張しました。慣れてくるとどこが分からなくて、どうすれば生徒の皆さんに分かりやすい説明になるのかをつかめるようになり、教員を目指す学生としての貴重な経験ができたと感じています。」と感想を述べています。

教職課程センター・地域学校教育センター主催 「本気で授業改革！四技能統合型授業実践に向けて！」を開催

2018年8月20日に明海大学浦安キャンパスにおいて上記セミナーを開催しました。差し迫った新学習指導要領の施行に向けて高野敬三副学長が小・中・高が連携して外国語教育を行うことの重要性について講演した後、3名の講師（明海大学 百瀬美帆准教授、朝日大学 亀谷みゆき准教授、千葉県立磯辺高校 植草智代教諭）がワークショップ形式で指導方法を紹介しました。関東近県から中・高等学校等の先生方約40名の参加があり、事後アンケートでは「来年も開催して欲しい」との要望が出るなど、高い評価を得ました。

玉川大学小学校教員養成プログラム 夏季スクーリング報告

今年度玉川大学で小学校免許取得の取組みを開始した3名の3年生が、初めての玉川大学キャンパスにおける6日間のスクーリングを行いました。感想を次のように述べています。

佐藤里奈さん（日本語学科）

「授業だけではなく、いろいろな立場の方々と交流して視野を広げることができました。指導案のアイデアを共有することができて勉強になりました」

宮里拓夢さん（日本語学科）

「いつもとは違う環境であったり、普段はあまり関われない社会人の方々と出会えたりして楽しかったです」

池田義友さん（英米語学科）

「短い日数ではありますが、異年齢の学生からも大学の先生からも多くのことを学べる良い機会でした」